

白杵市 施策評価シート
(令和3年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	農林振興課有機農業推進室	竹尾 智明	201

コード	IV-11-20	施策名	「有機の里うすき」の実現
施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす		
まちづくりの方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)		
5年後のめざす姿	「うすき夢堆肥」による「土づくり」に重点を置いた有機農業に取り組みやすい環境を整備し、生産者と消費者がともに「食」に関する重要性の理解を深めます。白杵市長が認証する「ほんまもん農産物」(以下「ほんまもん農産物」)や「有機JAS認証による農産物」(以下「有機農産物」)を、気軽に手に入れることができる環境をめざします。		
施策の内容	「うすき夢堆肥」による土づくりにより農業者が有機農業に取り組みやすい環境づくりや、「ほんまもん農産物認証制度」による有機農産物のブランド化を推進するとともに、安心安全な農産物の供給や有機農業の生産拡大を図ります。また、有機農業の新規就農者の拡大や学校給食への有機野菜の供給拡大を図ります。		

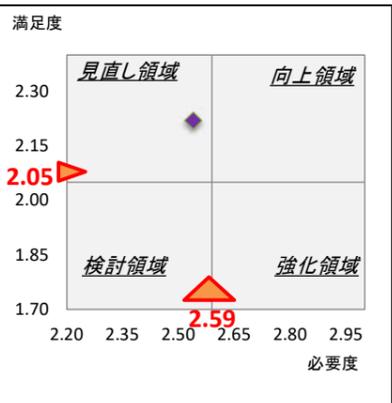
<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
「ほんまもん農産物」と有機農産物栽培生産戸数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物認証生産戸数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物認証生産戸数	目標	戸	60	60	55	57	59
			実績	54	63	54			
			達成率	%	105.0%	90.0%			
学校給食での「ほんまもん農産物」と有機農産物の使用割合	学校給食の野菜使用総量に対する「ほんまもん農産物」及び有機農産物の使用割合	学校給食の野菜使用総量に対する「ほんまもん農産物」及び有機農産物の使用割合	目標	%	16.0	15.0	35.0	45.0	50.0
			実績	14.6	12.5	11.3			
			達成率	%	78.1%	75.3%			
「ほんまもん農産物」と有機農産物の利用店舗数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物取扱店舗数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物取扱店舗数	目標	店舗	30	35	70	75	80
			実績	30	41	65			
			達成率	%	136.7%	185.7%			
「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃面積	「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃面積	「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃面積	目標	ha	84.0	88.0	87.0	88.0	89.0
			実績	80.0	80.8	85.9			
			達成率	%	96.2%	97.6%			
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					

指標の分析	<p>・「ほんまもん農産物及び有機農産物」認証生産戸数については、本年度、ほんまもん農産物認証制度を改正したことにより緑認証や高齢の生産者の廃業が増加し認証生産戸数が大幅に減少しました。</p> <p>・学校給食への供給については、天候不良により生産量が減少したことにより、目標数値を下回りました。しかしながら、本年度から主要3品目(馬鈴薯・玉ねぎ・人参)を設定し、作付け・保存の実証試験を開始し、利用率の向上を図ります。</p> <p>・「ほんまもん農産物及び有機農産物」の取扱店舗数は、コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止されるなか、SNS等での情報発信を積極的に行い目標には達していないものの昨年度よりは増加しています。</p> <p>・ほんまもん農産物等栽培圃面積については、認証制度を見直したことにより、認証生産戸数は減少したものの、引き続き正確な数値の把握に努めるとともに、圃場の確保や情報共有を行い目標値の達成に向けて取り組みます。</p>
-------	---

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R3調査)	見直領域	2.54	2.22
市民意識調査結果分析	<p>令和3年度実施のアンケート結果では、「必要度」が低く、「満足度」が高い「見直領域」に位置しており、目標達成の状況やサービスの供給量を検証する必要があります。</p> <p>国は、本年度「みどりの食料システム戦略」を策定し有機農業を初めとする環境負荷の軽減を推進することとなっていますが、以前日本における有機農産物の需要は0.4%~0.6%程度と低く、白杵市においても「食」にこだわらない方には有機農業への関心は低いものとなりますが、本年度認定を受けた「ユネスコ食文化創造都市」への加入により有機農業周知に向けて積極的な事業に取り組んでいます。</p>		



<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題	「有機の里うすき」の取り組みにおいて、担い手の確保や新規就農者の促進は優先的課題となりますが、認証制度を改定したことにより生産圃場の拡大や確保も併せて重要となります。また、販路の安定的な供給先である学校給食での利用率向上にむけては、本年度より開始した主要3品目(馬鈴薯・玉ねぎ・人参)の作付け・保存の実証試験を引き続き行うと併せて集出荷の確立に向けた実証試験も開始し、生産者の生産意欲向上と生産量の拡大・安定供給を図っていきます。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R2年度実績	R3年度実績	令和4年度年度見込み			
1 土づくりセンター指定管理料	土づくりセンターの堆肥製造、販売等の指定管理を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	31,261	35,000	35,500	重点継続	○	
2 ほんまもんの里うすき農業推進協議会補助金	環境保全型の推進、「ほんまもんの里うすき」ブランドの確立、地産地消を推進する協議会への補助金	農林振興課有機農業推進室	○	3,300	-	5,000	重点継続		
3 有機農業起業家誘致奨励金	有機JAS認証を取得する新規農業者への奨励を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	1,000	3,000	3,000	継続		
4 環境保全型農業直接支払交付金	環境保全を行う有機農業者への交付を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	4,337	4,887	4,887	継続	○	
5 地域おこし協力隊(有機農業)	地域おこし協力隊制度を活用し、栽培研修及び販売対策事業に取り組みます。	農林振興課有機農業推進室	○	20,704	14,470	25,450	継続	○	
6 有機農業推進支援負担金	学校給食への安心・安全なほんまもん農産物利用率と農家の生産意欲向上のため学校給食調理場が購入する価格の上乗助成。	農林振興課有機農業推進室	○		984	2,000	重点化	○	
7									
8									
9									
10									
合計				60,602	58,341	75,837			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	「有機の里うすき」において核となる「うすき夢堆肥」の安定供給にむけ、土づくりセンターの生産・管理・運営における中長期計画の検討、地域おこし協力隊の活用やファーマーズスクールの実施等による担い手育成の強化、学校給食への供給率向上に向けた契約栽培の推進や集出荷の確立、安定的な生産及び販路の構築等、現状の取り組みをさらに強化していく必要があります。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度~令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和3年度実施済	-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--